

R3八代地域WCS及びわら用稲栽培ごよみ

熊本県南広域本部
農業普及振興課
八代市農業再生協議会
JAやつしろ
令和3年3月作成

(飼料用米の収穫後にわら取りを行う場合も使用農薬が制限されますので、この栽培ごよみに従って栽培してください)

栽培上の留意点

1. 作型にあった品種を選び適期移植を行いましょ。
2. 多収を目指すため多肥栽培を行いましょ。
3. 捨てづくりは厳禁です。適切な栽培管理を行いましょ。

施肥設計

ほ場条件により異なりますが、10a当たり窒素成分で10kg程度を目安に施用しましょ。

基肥	WCS	すご稲R2753 (27-5-3) 40kg/10a
	わら用稲	多収米ひとふり (25-6-6) 40kg/10a
※前作や地力に応じて調整してください		

防除

WCSおよびわら用稲に使用できる農薬については、畜産物の安全確保の面から基準(「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」等)が設けられており、稲に使用する農薬の一部に限られています。収量・品質の向上を図るとともに**周囲のほ場への影響**を考慮して基準に従って適切な防除を行いましょ。

収量・品質

高品質粗飼料の生産を目指し、適期移植・収穫・適切な収穫作業を行いましょ。

収穫時期	収穫調整作業について	目標収量
糊熟期～黄熟期	<ul style="list-style-type: none"> 適切な水分で収穫を行いましょ 異物(土砂・雑草)の混入を防ぎましょ 適切なラッピングと保管を行いましょ 	1t/10a

早期	3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月					
	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
普通期	5月			6月			7月			8月			9月		10月		11月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
晩期	6月			7月			8月			9月			10月		11月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
生育ステージ	播種			移植			分けつ期			幼穂形成期			出穂期		糊熟～黄熟期(収穫期)			

種子消毒

テクリードCフロアブル
+
スミチオン乳剤

箱剤

ピサンダス
パイフェル
セラゼク
サロン箱剤

初期除草剤

ベナク
クイン
サス
オー
シル
フロ
アト
アプ
ル

中期除草

ワバク
イサ
リド
グン
アラ
チャ
ター
液
ク
S
C

本田防除

スタ
ター
クル
ル水
粉溶
剤

出穂前までに防除を終了して下さい

※WCSは収穫時期が主食用米より早まるため、農薬ラベルの収穫前日数と収穫予定日に留意してください。

病害虫の発生状況に合わせて防除を行いましょ。

(注) ジャンボ剤についてはイグサ後など残渣が多いほ場では拡散性が劣りますので使用を避けて下さい。

※農薬の使用に関しては、必ず商品のラベルを確認し、その内容を遵守してください。記載のない農薬については最寄の関係機関におたずね下さい。